| 割番号 | 科目名[英] | | | | 単位数 |
|--|--|---|------------------------|--|-----|
| | | Introduction to Silvicul | ture] | | 1 |
| 教員(責任)[ロ- | | | | | |
| — [YOKOI Shւ | | | | | |
| 教員[ローマ字表 | | | | | |
| — [YOKOI Shu | ıichi] | | | | |
| 授業題目(火 | | | | | |
| | troduction to Silvicul | lture] | | \wedge | |
| | | | | | |
| W 100 1 100 1 | | | | | |
| | ワード(必須入力) | 辛口博 口插针刺 拔 | 类化苯 利普勒坦斯 人名 | はない 原則 はは州 へ | |
| 垣林技術、育林 の原則、経済性 | | 生日悰、日悰怀尘、 他。 | 業体系、科学的根拠、合同 | 日然の原則、持続性 (二) | |
| | | | | | |
| ■ 授業の目的 | (水海 7. 去) | | | | |
| | | 、(狭義の育林を含む)の | の意義と、造林技術の要 | 表である個別作業の | |
| | 学的根拠に基づいて | | | | |
| | | | | | |
| 授業の到達 | 目標(必須入力) | | | | |
| | | 視点で、造林の個別技 | 術の目的と方法を説明で | きる。 | |
| | | せで構築されていること | | | |
| | | | | | |
| 授業概要(』 | ソイカス・十八 | | | | |
| | 少浪 人 儿) | | | | |
| 生物としての樹 | 木、集団で生活する様 | | 集団としての森林という | | |
| 生物としての樹をつくる技術(造 | 木、集団で生活するセ セ林技術)と育てる技術 | 析(育林技術)の理論と | 方法を解説する。また、既 | | |
| 生物としての樹をつくる技術(造 | 木、集団で生活するセ セ林技術)と育てる技術 | | 方法を解説する。また、既 | | |
| 生物としての樹 をつくる技術(造 れながら、個別 | 木、集団で生活する権 ・林技術)と育てる技行 作業の関連性を考察 | 析(育林技術)の理論と | 方法を解説する。また、既 | | |
| 生物としての樹をつくる技術(造れながら、個別 | 木、集団で生活する様 林技術)と育てる技術 作業の関連性を考察 ユール(必須入力) | 析(育林技術)の理論と | 方法を解説する。また、既 | | |
| 生物としての樹をつくる技術(造れながら、個別・授業スケジ | 木、集団で生活する村 は林技術)と育てる技術 作業の関連性を考察 ユール(必須入力) 5造林・育林の意義 | 析(育林技術)の理論と | 方法を解説する。また、既 | | |
| 生物としての樹をつくる技術(造れながら、個別 授業スケジ 1. 林業における 2. 森林の更新(3. 造林樹種と過 | 木、集団で生活する植林技術)と育てる技術作業の関連性を考察 ルル(必須入力) の選集性を考察 エール(必須入力) の造林・育林の意義 天然更新と植栽) 動地適木 | 析(育林技術)の理論と | 方法を解説する。また、既 | | |
| 生物としての樹をつくる技術(造れながら、個別 授業スケジ 1. 林業における 2. 森林の更新(| 木、集団で生活する植林技術)と育てる技術作業の関連性を考察 作業の関連性を考察 ユール(必須入力) 5造林・育林の意義 天然更新と植栽) 動地適木 上森林の発達 | 析(育林技術)の理論と | 方法を解説する。また、既 | | |
| 生物としての樹をしての樹をかくるら、 大変 で で で で で で で で で で で で で で で で で で | 木、集団で生活する根 林技術)と育てる技術 作業の関連性を考察 ユール(必須入力) る造林・育林の意義 天然更新と植栽) 通地適木 二森林の発達 間競争の制御) (争の制御) | 所(育林技術)の理論とし、各種の森林施業の | 方法を解説する。また、既 | | |
| 生物としての樹をしての樹をかくるら、 大変 で で で で で で で で で で で で で で で で で で | 木、集団で生活する根 林技術)と育てる技術 作業の関連性を考察 ユール(必須入力) る造林・育林の意義 天然更新と植栽) 通地の発達 間競争の制御) ・中のでザイ | 所(育林技術)の理論とし、各種の森林施業の | 方法を解説する。また、既 | | |
| 生物としての樹をしての樹をつくるら、 授業 スケジ | 木、集団で生活する根 林技術)と育てる技術 作業の関連性を考察 ユール(必須入力) る造林・育林の意義 天然更新と植栽) 通地の発達 間競争の制御) ・中のでザイ | 所(育林技術)の理論とし、各種の森林施業の | 方法を解説する。また、既 | | |
| 生物としての樹をしての樹をつくるら、 授業 スケジ | 木、集団で生活する根 林技術)と育てる技術 作業の関連性を考察 ユール(必須入力) る造林・育林の意義 天然更新と植栽) 通地の発達 間競争の制御) ・中のでザイ | 所(育林技術)の理論とし、各種の森林施業の | 方法を解説する。また、既 | | |
| 生物としての樹をしての樹をかくるら、 授業にの様の別 | 木、集団で生活する根 林技術)と育てる技術 作業の関連性を考察 ユール(必須入力) る造林・育新と植栽) 適地林・育新と植栽) 適地林・の発達 間競争の制御) 中の制御新のデザイ も課題と展望 | が(育林技術)の理論とし、各種の森林施業のというというというというというというというというというというというというというと | 方法を解説する。また、財成り立ちを解説する。 | (イの技術体系に触 | |
| 生物としての樹造れての樹造れての「大きながらいる」というでは、「大きながらいながらい。」では、「大きない」では、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない | 木、集団で生活する根 林技術)と育てる技術 作業の関連性を考察 ユール(必須入力) る造林・育新と植栽) 適地林・育新と植栽) 適地林の発達 間競争の制御) は中のでデザイ の課題と展望 学習にかかわる情報 り、実際に作業したり | 所(育林技術)の理論とし、各種の森林施業の し、各種の森林施業の ン) | 方法を解説する。また、即成り立ちを解説する。 | ではでは、では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | |
| 生物としての樹造れての樹造れての「大きながらいる」というでは、「大きながらいながらい。」では、「大きない」では、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない | 木、集団で生活する根 林技術)と育てる技術 作業の関連性を考察 ユール(必須入力) る造林・育新と植栽) 適地林・育新と植栽) 適地林の発達 間競争の制御) は中のでデザイ の課題と展望 学習にかかわる情報 り、実際に作業したり | 所(育林技術)の理論とし、各種の森林施業の し、各種の森林施業の ン) | 方法を解説する。また、財成り立ちを解説する。 | ではでは、では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | |
| 生物としての樹達れての樹達れながら、個別では大きでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次 | 木、集団で生活する根 林技術)と育てる技術 作業の関連性を考察 ユール(必須入力) の造林・育林の意義 天然更新と植栽) 極地森林の発達 間競争の制御) 中の種と更報望 学習にかかわる情報 り、実際に作業したり 様林生態学・森林立地 | 所(育林技術)の理論とし、各種の森林施業の し、各種の森林施業の ン) | 方法を解説する。また、即成り立ちを解説する。 | ではでは、では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | |
| 生物としての樹達れての樹達れながら、個別では大きでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次 | 木、集団で生活する根 林技術)と育てる技術 作業の関連性を考察 ユール(必須入力) る造林・育新と植栽) 適地林・育新と植栽) 適地林の発達 間競争の制御) は中のでデザイ の課題と展望 学習にかかわる情報 り、実際に作業したり | 所(育林技術)の理論とし、各種の森林施業の し、各種の森林施業の ン) | 方法を解説する。また、即成り立ちを解説する。 | ではでは、では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | |
| 生物としての樹達れての樹達れながら、個別では大きでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次 | 木、集団で生活する根 林技術)と育てる技術 作業の関連性を考察 ユール(必須入力) の造林・育林の意義 天然更新と植栽) 極地森林の発達 間競争の制御) 中の種と更報望 学習にかかわる情報 り、実際に作業したり 様林生態学・森林立地 | 所(育林技術)の理論とし、各種の森林施業の し、各種の森林施業の ン) | 方法を解説する。また、即成り立ちを解説する。 | ではでは、では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | |
| 生物としての付達れての付達れての付達れての付達れての付達れてのがら、 授業にの付金を表示を持ている。 大学 は、 一下 では、 は、 に、 は、 一下 では、 は、 に、 に、 は、 に、 | 木、集団で生活する植林技術)と育てる技術作業の関連性を考察 ユール(必須入力) の造林・育林の意義 を表別を連続を表別を が表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別である。 は、一人のでは、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一 | 所(育林技術)の理論とし、各種の森林施業の し、各種の森林施業の ン) | 方法を解説する。また、即成り立ちを解説する。 | ではでは、では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | |
| 生物としての樹達れての樹達れながら、個別では大きでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次 | 木、集団で生活する植林技術)と育てる技術作業の関連性を考察 ユール(必須入力) の造林・育林の意義 を表別を連続を表別を が表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別である。 は、一人のでは、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一 | 所(育林技術)の理論とし、各種の森林施業の し、各種の森林施業の ン) | 方法を解説する。また、即成り立ちを解説する。 | ではでは、では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | |
| 生物としての付達れての付達れての付達れての付達れての付達れてのがいる。 授業にの付金を表示を持ている。 大学にのは、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下で | 木、集団で生活する植林技術)と育てる技術作業の関連性を考察 ユール(必須入力) の造林・育林の意義 を表別を連続を表別を が表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別である。 は、一人のでは、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一 | 所(育林技術)の理論とし、各種の森林施業の し、各種の森林施業の ン) | 方法を解説する。また、即成り立ちを解説する。 | ではでは、では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | |
| 生物としての付達れての付達れての付達れての付達れての付達れてのがいる。 授業にの付金を表示を持ている。 大学にのは、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下で | 木、集団で生活する植林技術)と育てる技術作業の関連性を考察 ユール(必須入力) の造林・育林の意義 を表別を連続を表別を が表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別である。 は、一人のでは、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一 | 所(育林技術)の理論とし、各種の森林施業の し、各種の森林施業の ン) | 方法を解説する。また、即成り立ちを解説する。 | ではでは、では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | |
| 生物とは、 | 木、集団で生活する植林技術)と育てる技術作業の関連性を考察 ユール(必須入力) の造林・育林の意義 を表別を連続を表別を が表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別である。 は、一人のでは、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一 | 所(育林技術)の理論とし、各種の森林施業の し、各種の森林施業の ン) | 方法を解説する。また、即成り立ちを解説する。 | ではでは、では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | |
| 生物とは、 | 木、集団で生活する根 林技術)と育てる技術 作業の関連性を考察 ユール(必須入力) の造林・育林の意義 (極地森林の発達 (関連を発達) (通地本林の発達 (関連を) (関連を) (関連性を考察 (のは、) (のは) (のは) (のは | 所(育林技術)の理論とし、各種の森林施業の し、各種の森林施業の ン) | 方法を解説する。また、即成り立ちを解説する。 | ではでは、では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | |

| 4 教科書 | (購入す | る必要のある図書)(必須入力) | | | | | | |
|--|-----------|------------------------------------|-----------------|------------|------|-------------------|--|--|
| 教科書1 | 書名 | 該当なし | | | ISBN | | | |
| | 著者名 | 出版 | 版社 | | 出版年 | | | |
| 教科書2 · | 書名 | | - | | ISBN | | | |
| | 著者名 | 出片 | 版社 | | 出版年 | | | |
| 4 + + | /m# 1 -1- | フンボルル、18 141回上フ回 中)/ 2 | \ \ ''= 1 | | | | | |
| 参考書 | | る必要はないが,推奨する図書)(必 | | | | | | |
| 参考書1 | 書名 | 森づくりの原理・原則 | | | ISBN | 978-4-88138-357-5 | | |
| 少为言 | 著者名 | 正木隆出 | 版社 | 全国林業改良普及協会 | 出版年 | 2018 | | |
| 参考書2 | 書名 | 造林学 第四版 | | | ISBN | 978-4-254-47051-2 | | |
| | 著者名 | 丹下健・小池孝良 編 出版 | 版社 | 朝倉書店 | 出版年 | 2016 | | |
| は オフィスアワー(必須入力) E-mailによる連絡。 | | | | | | | | |
| 連絡先(必須入力) | | | | | | | | |
| yokoi@silviculturetech.com | | | | | | | | |
| 参照ホームページ (任意入力) | | | | | | | | |
| その他(任意入力) 造林技術は職人技ではなく、科学技術です。造林学は、その科学技術を支える学問分野です。造林学の 知識は、目的や現場に応じた施業を展開するための基礎体力になるはずです。 | | | | | | | | |